

大学番号：国041

[平成21年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置

意見伺い

信州大学大学院 医学系研究科保健学専攻（博士後期課程）

【意見伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 信州大学
平成23年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名

医学系研究科長	久保 圭 嗣
医学部副学部長 （事務担当）	戸谷 秀 一
医学部副学部長補佐 （事務担当）	髙松 利 光

内部部局

総務部長	萩原 ヒトシ
経営企画部経営企画課長	徳 武 文 雄
経営企画部経営企画課主査	増 田 ヤス コ子

電話番号 0263-37-2122

（夜間） 0263-37-2122

F A X 0263-37-3484

e-mail kkikaku-kikaku@shinshu-u.ac.jp

目 次

1	調査対象大学院等の概要等	1
2	授業科目の概要	5
3	施設・設備の整備状況，経費	7
4	既設大学等の状況	8
5	教員組織の状況	10
6	留意事項に対する履行状況等	14
7	その他全般的事項	15

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人信州大学

(2) 大学院名

信州大学大学院

(3) 大学の位置

〒390-8621

長野県松本市旭3丁目1番1号

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
学長	コミヤマ アツ 小宮山 淳 (平成15年6月11日)	ヤマザキ ヒト 山沢 清人 (平成21年10月1日)	平成21年10月1日小宮山 淳学長、任期満了に伴い、山沢清人教授、学長就任(22)
研究科長	クボ ケイシ 久保 恵嗣 (平成20年6月11日)		

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例)平成20年度に報告済の内容 (20)

平成23年度に報告する内容 (23)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注)・当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・様式は, 平成21年度開設の博士後期課程の場合(平成23年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画		備考	
	修業年限	入学定員		収容定員
医学系研究科 博士後期課程(保健学専攻) 博士(保健学)	3年	4人	12人	基礎となる学部等 ・医学部保健学科 ・医学系研究科博士前期課程 (保健学専攻)

- (注)・「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	4人 (-) [-]	人	4人 (-) [-]	人	4人 (-) [-]	人	1.75 倍	
志願者数	9 (9) [-]	- (-) [-]	6 (6) [-]	- (-) [-]	7 (7) [-]	- (-) [-]		
受験者数	9 (9) [-]	- (-) [-]	6 (6) [-]	- (-) [-]	7 (7) [-]	- (-) [-]		
合格者数	9 (9) [-]	- (-) [-]	6 (6) [-]	- (-) [-]	7 (7) [-]	- (-) [-]		
B 入学者数	9 (9) [-]	- (-) [-]	5 (5) [-]	- (-) [-]	7 (7) [-]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B / A	2.25		1.25		1.75			

- (注)・()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・[]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・短期交換留学生など, 定員内に含まれていない学生については記入しないでください。
 ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入**してください。
 ・「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
 ・「平成23年度」には, 平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・「平成20~22年度」には, 確定した数値を記入してください。

(5) - 調査対象研究科等

学 年	平成 2 1 年度		平成 2 2 年度		平成 2 3 年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[0] 9	[-] -	[0] 5	[-] -	[0] 7	[-] -	
2 年次	/		[0] 9	[-] -	[0] 5	[-] -	
3 年次			/		[0] 9	[-] -	
計	[0] 9	[0] 14			[0] 21		

- (注) ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数**を記入してください。
 - ・ 「平成 2 3 年度」には、平成 2 3 年 5 月 1 日現在の状況を記入してください。
 - ・ 「平成 2 0 ~ 2 2 年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) - 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a / b)
平成 2 1 年度 (平成21年4月1日～ 平成22年3月31日)	計 [0] 0	(累積)計 [0] 9	0%
	うち平成 2 1 年度入学者 0人	うち平成 2 1 年度 9人	
	(主な退学理由)		
平成 2 2 年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 [0] 0	(累積)計 [0] 14	0%
	うち平成 2 1 年度入学者 0人	うち平成 2 1 年度 9人	
	うち平成 2 2 年度入学者 0人	うち平成 2 2 年度 5人	
	(主な退学理由)		

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度における退学者数】を、【当該対象年度の入学者数+当該対象年度前年度までの確定した在学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<医学系研究科保健学専攻（博士後期課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				備考	
			必修	選択	自由	計	教授	准教授	講師	助教		助手
共通科目	保健・医療・福祉連携論	1前	2				4					
	生涯保健学研究法	1前	2				4	2				
	組織管理運営論	1前		2								
生涯保健学分野	母子保健学特講	1前	2				5	1				
	母子保健学演習A	1後		2			1					
	母子保健学演習B	1後		2				1				
	母子保健学特別研究	1・2・3 通年	6				1	1				
	成人保健学特講	1前	2				6 5	2 3				平成22年4月より山崎章恵（元信州大学准教授 平成21年9月退職）、非常勤講師へ（22） 平成22年10月より坂口けさみ教授が同授業を担当（平成22年7月教員審査済 判定可）（22）
	成人保健学演習A	1後		2			1					
	成人保健学演習B	1後		2			1					
	成人保健学演習C	1後		2			2	1				
	成人保健学演習D	1後		2			1					
	成人保健学特別研究	1・2・3 通年	6				5	1				
	老年保健学特講	1前	2				2	1	1			
	老年保健学演習A	1後		2			1					
	老年保健学演習B	1後		2			1					
	老年保健学演習C	1後		2				1				
	老年保健学特別研究	1・2・3 通年	6				2	1				
医療基礎科学分野	健康基礎科学特講	1前	2				8	2				目的、教育内容、養成する人材像等を踏まえた分野名称にすることが望ましい。とする大学設置・学校法人審議会からの意見に対応し、分野名称を「医療生命科学分野」、領域名称を「医療生命科学領域」に変更した。（21）
	健康基礎科学演習A	1後		2			3					
	健康基礎科学演習B	1後		2			2	1				
	健康基礎科学演習C	1後		2			3	1				
	健康基礎科学特別研究	1・2・3 通年	6				8	2				

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成22年度に認可された大学等は設置認可時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成 年 月 提出予定」と記入してください。）
 ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記載する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1) 授業科目表」にはその状況を反映させてください。（ただし、「(3) 未開講科目」欄には記載する必要はありません。）

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
10	13	0	23	10	13	0	23	
[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[]内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合： 1）

(3) 未開講科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注)・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。（ただし，未開講科目があった場合は，(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。）

(4) 廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注)・ 設置認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費
(松本キャンパス)

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	整備・充実を図るため (22)		
	校舎敷地	199,653 m ² 196,406 m ²	0 m ²	0 m ²	199,653 m ² 196,406 m ²			
	運動場用地	62,874 m ²	0 m ²	0 m ²	62,874 m ²			
	小 計	262,527 m ² 259,280 m ²	0 m ²	0 m ²	262,527 m ² 259,280 m ²			
	そ の 他	36,853 m ²	0 m ²	0 m ²	36,853 m ²			
	合 計	299,380 m ² 296,133 m ²	0 m ²	0 m ²	299,380 m ² 296,133 m ²			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	217,846 m ² (217,846 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	217,846 m ² (217,846 m ²)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 整備・充実を図るため (23)		
	153 室 150 室 138 室	215 室 194 室 52 室	937 室 720 室 226 室	22 室 26 室 (補助職員 0人)	7 室 3 室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	医学系研究科保健学専攻(博士後期課程)			28 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機械・器具	標 本	大学全体での共用分 図書1,068,882 4,054,535 4,029,464 冊 [298,201 293,956 289,668冊] 学術雑誌46,908 45,049 40,834冊 [27,218 25,742 24,293冊] 電子ジャーナル25,069 23,410 18,619 [20,818 19,376 14,907種] 5 6 視聴覚資料4,730 4,477 3,997点 機械・器具45,168 46,753 36,484点 標本147,481 147,479 点 5 6 整備・充実を図るため (23)
		[うち外国書]	[うち外国書]					
	(175,177 [87,235])	(4,946 [2,478])	(577 [14])	(285)	(10,023)	(6)		
	177,296 [86,703] 176,948 [86,656] 175,838 [86,908] 175,177 [87,235]	5,257 [2,500] 5,189 [2,495] 5,086 [2,484] 4,946 [2,478]	856 [26] 802 [25] 705 [15] 577 [14]	478 420 374 285	9,385 40,117 10,023			
計	(175,177 [87,235])	(4,946 [2,478])	(577 [14])	(285)	(10,023)	(6)		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 整備・充実を図るため (23)	
	11,155 44,814 m ²		1,378 4,275 4,253 4,250		968,000 989,000 983,000 987,000			
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体	
	7,111 m ²		・運動場 8面 ・テニスコート 29面 ・弓道場 6施設 ・武道場 4施設 ・プール 2施設					
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員1人当り研究費等		図書購入費				
	共同研究費等		設備購入費					
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
学生納付金以外の維持方法の概要								

(注) ・ 設置認可時の計画を、認可申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成23年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(23)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	信州大学								備考	
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	開設 年度	所在地		
	年	人	年次 人	人		倍				
人文学部						1.09	昭和53年度	長野県松本市旭3丁目1番1号		
人間情報学科	4	80	35	330	学士(文学)	1.09	平成7年度			
文化コミュニケーション学科	4	75	35	310	"	1.10	"			
教育学部						1.04	昭和24年度	長野県長野市大字西長野6の口		
学校教育教員養成課程	4	210		840	学士(教育学)	1.04	平成11年度			
特別支援学校教員養成課程	4	20		80	"	1.05	"			
生涯スポーツ課程	4	30		120	"	1.05	"			
教育カウンセリング課程	4	20		80	"	1.08	"			
経済学部						1.11	昭和53年度	長野県松本市旭3丁目1番1号		
経済学科	4	125	320	540	学士(経済学)	1.10	"			
経済システム法学科	4	60	310	260	"	1.12	平成7年度			
理学部						1.03	昭和41年度	長野県松本市旭3丁目1番1号		
数理・自然情報科学科	4	55		220	学士(理学)	1.04	平成7年度			
物理科学科	4	35		140	"	1.03	"			
化学科	4	35		140	"	1.09	"			
地質科学科	4	30		120	"	1.04	"			
生物科学科	4	30		120	"	1.02	"			
物質循環学科	4	25		100	"	1.05	"			
各学科共通			310	20		0.75				
医学部						0.99	昭和24年度	長野県松本市旭3丁目1番1号		
医学科	6	115		633	学士(医学)	1.00	昭和26年度			
保健学科	4	143	317	606	学士(看護学) 学士(保健学)	1.00	平成14年度			
工学部						1.06	昭和24年度	長野県長野市若里4丁目17番1号	平成20年度より学生募集停止	
機械システム工学科	4	80	333	326	学士(工学)	1.06	平成10年度			
電気電子工学科	4	95	333	386	"	1.07	平成元年度			
社会開発工学科	4	-		-	"	-	"			
土木工学科	4	45	322	184	"	1.06	平成20年度			
建築学科	4	50	322	204	"	1.08	"			
物質工学科	4	60	333	246	"	1.05	平成10年度			
情報工学科	4	90	333	370	"	1.05	平成元年度			
環境機能工学科	4	50	322	204	"	1.08	平成10年度			

大学の名称	信州大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
農学部						1.04	昭和24年度	長野県上伊那郡南箕輪村8304	
食料生産科学科	4	62		248	学士(農学)	1.05	平成9年度		
森林科学科	4	61		244	"	1.05	"		
応用生命科学科	4	52		208	"	1.05	"		
各学科共通			310	20		0.90			
繊維学部						1.07	昭和24年度	長野県上田市常田3丁目15番1号	
応用生物科学科	4	-		-	学士(農学)	-	昭和60年度	平成20年度より学生募集停止	
繊維システム工学科	4	-		-	学士(工学)	-	平成7年度		"
素材開発科学科	4	-		-	"	-	昭和63年度		"
機能機械学科	4	-		-	"	-	昭和61年度		"
精密素材工学科	4	-		-	"	-	昭和62年度		"
機能高分子学科	4	-		-	"	-	昭和53年度		"
感性工学科	4	-		-	"	-	平成7年度		"
先進繊維工学課程	4	30	31	122	学士(工学)	1.10	平成20年度		〔創造工学系〕
機能機械学課程	4	30	31	122	学士(工学)	1.13	"		
感性工学課程	4	30	31	122	学士(工学)	1.15	"		
応用化学課程	4	37	31	150	学士(工学)	1.06	"		〔化学・材料系〕 2年次進級時に所属課程を決定するため、系の定員超過率を記載した。
材料化学工学課程	4	37	31	150	学士(工学)		"		
機能高分子学課程	4	36	32	148	学士(工学)	"	"		〔応用生物学系〕 3年次進級時に所属課程を決定するため、系の定員超過率を記載した。
バイオエンジニアリング課程	4	25	31	102	学士(工学)	"	"		
生物機能科学課程	4	25	31	102	学士(工学)	1.04	"		
生物資源・環境科学課程	4	25	31	102	学士(農学)	"	"		

(注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校等の学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・認可申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。
- ・「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)の記載は不要です。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、「備考」に「平成年度より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<医学系研究科保健学専攻（博士後期課程）>

(1) 担当教員表

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	坂 口 けさみ	平成21年4月	生涯保健学研究法 母子保健学特講 母子保健学演習A 母子保健学特別研究						
専	教授	阪 口 しげ子	平成21年4月	母子保健学特講						
専	教授	市 川 元 基	平成21年4月	母子保健学特講						
専	教授	寺 田 克	平成21年4月	母子保健学特講						
専	教授	金 井 誠	平成21年4月	保健・医療・福祉連携 論 母子保健学特講						
専	教授	木 村 貞 治	平成21年4月	保健・医療・福祉連携 論 生涯保健学研究法 成人保健学特講 成人保健学演習C 成人保健学特別研究						
専	教授	百 瀬 公 人	平成21年4月	成人保健学特講 成人保健学演習C 成人保健学特別研究						
専	教授	小 林 正 義	平成21年4月	成人保健学特講 成人保健学演習D 成人保健学特別研究						
専	教授	松 永 保 子	平成21年4月	成人保健学特講 成人保健学演習A 成人保健学特別研究						
専	教授	本 郷 実	平成21年4月	生涯保健学研究法 成人保健学特講 成人保健学演習B 成人保健学特別研究						
専	教授	上 村 智 子	平成21年4月	保健・医療・福祉連携 論 老年保健学特講 老年保健学演習A 老年保健学特別研究						
専	教授	埴 原 秋 児	平成21年4月	老年保健学特講 老年保健学演習B 老年保健学特別研究						
専	教授	高 宮 脩	平成21年4月	健康基礎科学特講 健康基礎科学演習B 健康基礎科学特別研究						
専	教授	高 昌 星	平成21年4月	健康基礎科学特講 健康基礎科学演習A 健康基礎科学特別研究						

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	川 上 由 行	平成21年4月	健康基礎科学特講 健康基礎科学演習A 健康基礎科学特別研究						
専	教授	相 良 淳 二	平成21年4月	生涯保健学研究法 健康基礎科学特講 健康基礎科学演習A 健康基礎科学特別研究						
専	教授	奥 村 伸 生	平成21年4月	保健・医療・福祉連携 論 健康基礎科学特講 健康基礎科学演習B 健康基礎科学特別研究						
専	教授	太 田 浩 良	平成21年4月	健康基礎科学特講 健康基礎科学演習C 健康基礎科学特別研究						
専	教授	斉 藤 直 人	平成21年4月	健康基礎科学特講 健康基礎科学演習C 健康基礎科学特別研究						
専	教授	植 田 秀 穂	平成21年4月	健康基礎科学特講 健康基礎科学演習C 健康基礎科学特別研究						
専	准教授	玉 井 眞 理 子	平成21年4月	生涯保健学研究法 母子保健学特講 母子保健学演習B 母子保健学特別研究						
専	准教授	Goh Ah Cheng	平成21年4月	成人保健学特講 成人保健学演習C 成人保健学特別研究						
専	准教授	山 崎 章 恵	平成21年4月	成人保健学特講	兼任					他大学に就職のため平成21年9月30日 付けで退職したことに伴い兼任講師 に変更(22)
					専	教授	坂 口 け さ み (58)	平成22年10月	成人保健学特講	平成22年7月 教員審査済 判定可 (22)
専	准教授	下 里 誠 二	平成21年4月	成人保健学特講						
専	准教授	横 川 吉 晴	平成21年4月	生涯保健学研究法 老年保健学特講 老年保健学演習C 老年保健学特別研究						
専	准教授	羽 山 正 義	平成21年4月	健康基礎科学特講 健康基礎科学演習C 健康基礎科学特別研究						
専	准教授	日 高 宏 哉	平成21年4月	健康基礎科学特講 健康基礎科学演習B 健康基礎科学特別研究						
専	講師	井 口 高 志	平成21年4月	老年保健学特講						
兼任	講師	野見山 哲生	平成21年4月	生涯保健学研究法						
兼任	講師	坂 田 信 裕	平成21年4月	保健・医療・福祉連携論	兼任					他大学に就職のため平成22年3月31日 付けで退職したことに伴い兼任講師 に変更(22)

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	杉原 伸宏	平成21年4月	保健・医療・福祉連携論						
兼任	講師	小池 健一	平成21年4月	組織管理運営論						
兼任	講師	松本 あつ子	平成21年4月	組織管理運営論						
兼任	講師	久保 恵嗣	平成21年4月	組織管理運営論						
兼任	講師	木原 秀樹	平成21年4月	組織管理運営論						
兼任	講師	山内 一由	平成21年4月	組織管理運営論	兼任					他大学に就職のため平成21年3月31日付けで退職したことに伴い兼任講師に変更(21)
兼任	講師	花房 謙一	平成21年4月	組織管理運営論						

(注)・認可申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、研究科 専攻(課程)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・年齢は、「**認可時の計画**」には**開設時現在の満年齢(科目就任時の満年齢ではありません)**を、「**変更状況**」には**平成23年5月1日現在の満年齢**を記入してください。
- ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
また、「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「年月教員審査済」、変更書を提出し、教員判定の結果が出ていない場合は「年月変更書提出済」、変更書を提出予定の場合は「年月変更書提出予定」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
- ・専任教員を変更する場合は、当該専門教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。

(2) 専任教員数

認可時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
21	0	21	0	20	0	20	0	
(21)	(0)	(21)	(0)	[1]	[0]	[1]	[0]	

(注)・「認可時の計画」には、設置認可時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成23年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置認可時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: 1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1	准教授	山崎章恵	長野県看護大学へ転出のため

(注)・設置認可時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員交代に伴う学生の履修等への影響は特にない。また、学生への周知についてはシラバス等により行っている。

(注)・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (平成20年10月31日)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成21年5月1日)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成22年5月1日)	該当なし		

- (注)・ 「認可時」には、当該大学等の設置認可時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<医学系研究科保健学専攻（博士後期課程）>

（1）設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
分野名称「健康基礎科学分野」 領域名称「健康基礎科学領域」	目的、教育内容、養成する人材像等を踏まえた分野名称にすることが望ましい。とする大学設置・学校法人審議会からの意見に対応し、分野名称を「医療生命科学分野」、領域名称を「医療生命科学領域」に変更した。

- （注）・ 1～6の項目により記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

（2）教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>F D委員会（平成20年4月設置）*規程等は制定してありません。</p>						
F D委員会	○医学部保健学科及び大学院医学系研究科保健学専攻における次の各号に関することを審議する。 1. 学生による授業評価の実施に関すること。 2. 教員による相互授業見学の実施に関すること。 3. F D研修会の実施に関すること。	看護	教員1名	五十嵐久人	23.4.1～25.3.31	2年 ※H23.9.30退職予定 兼任期間 植原秋児
		検査	教員1名	高宮 脩	22.4.1～24.3.31	
		理学	教員1名	大平雅美	23.4.1～25.3.31	
		作業	教員1名	植田秀穂	22.4.1～24.3.31	
<p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>必要に応じて開催予定，構成教員4名</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>1，学生による授業評価の実施に関すること。 2，教員による相互授業見学の実施に関すること。 3，F D研修会の実施に関すること。</p> <p>実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>1．大学院教育に関する満足度調査（修了予定者に実施予定） 2．F D研修会</p> <p>b 実施方法</p> <p>1．紙によるアンケート（修了予定者に実施予定） 2．本学全学教育機構の准教授を講師に招き実施</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>1．該当なし 2．平成23年2月9日（水）（33名参加）</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>1．該当なし 2．委員会を中心に検討中</p>						

- （注）・ 「 a 委員会の設置状況」には，関係規程等を転載又は添付すること。
「 実施状況」には，実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
(別紙のとおり)

自己点検・評価報告書

a 平成23年6月公表[中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書]

b 公表方法

信州大学ホームページ

認証評価を受ける計画

該当なし

(注)・ 設置認可時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報提供に関する事項

設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (年 月 日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/plan/setup/>)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。
なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp
件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(大学)」としてください。

A 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

1) 大学院医学系研究科保健学専攻の自己点検評価に対する考え方

信州大学医学部・医学系研究科は、従来自主的な判断と努力によって教育・研究・診察活動を展開し、多大の成果をあげてきたところであるが、教育・研究水準の一層の向上と活性化を目指すために、医学部・研究科自らが不断の自己点検・評価を行い、改善・改革に向かって努力することとし、教授会で選出された委員により構成された医学部点検・評価運営委員会を組織し、自己点検・評価を実施している。

2) 点検・評価の項目と評価の視点

(1) 教育研究活動に関する目的

- ・教育研究活動を行うに当たっての基本方針、達成しようとしている基本的な成果等（以下「目的」という。）が明確であるか

- ・目的が教職員、学生等学内に広く周知され、社会に公表されているか

医学系研究科保健学専攻（博士前期課程・博士後期課程）は、学生等学内に配付するシラバス、学生便覧への掲載はもとより、本学の公式 web サイトにも基本理念を公表している。

【博士前期課程】

信州大学大学院医学系研究科保健学専攻（博士前期課程）は、高い倫理観と豊かな人間性を有し、高度な専門的知識・技術と、科学的根拠に基づく臨床問題解決能力、そして、国際的な視野を持つ高度専門保健医療職者を育成することを基本理念としています。

【博士後期課程】

信州大学大学院医学系研究科保健学専攻（博士後期課程）では、学際的な保健学の領域における教育・研究を通して、その成果を社会に還元し、人々の健康支援を行い、積極的に疾病の予防を推進することにより、人類の健康と福祉に貢献することを基本理念としています。

(2) 教育研究組織

- ・教育研究に係る基本的な組織や各種委員会等その他教育活動を展開する上で必要な実施体制が、目的に照らして適切であるか

- ・教育活動を展開する上で必要な運営体制が適切に整備され、機能しているか

上記2点とも「医学系研究科保健学専攻大学院委員会」、「医学系研究科保健学専攻委員会」において教育活動上の課題を協議し、対応している。

(3) 教員及び教育支援者

- ・教育課程を遂行するために必要な教員や教育支援者が適切に配置されているか
専任教員を適切に配置しており、設置計画のとおり教育課程を遂行している。

- ・教育の目的を達成するための基礎となる研究活動が行われているか

カリキュラムは各担当教員の研究分野も踏まえて編成しており、教育目的を達成する基礎となる研究活動が行われている。

(4) 学生の受入

- ・教育の目的に沿ってアドミッションポリシーが明確に定められているか
博士前期課程・博士後期課程ともに、学生募集案内及び本学の公式 web サイトに公表している。

【博士前期課程】

保健学専攻（博士前期課程）では以下のような学生を求めています。

- 1．高い倫理観と豊かな人間性を有し、人類の幸福と福祉の向上に熱意のある人
- 2．科学的思考による問題解決能力を有し、国際的視野でものごとを考えることができる人
- 3．高度専門職業人として、地域社会の保健医療に貢献する意欲のある人
- 4．保健・医療・福祉において、指導的役割を担う意欲のある人
- 5．将来の保健学における教育者・研究者を志望する基礎学力と熱意のある人

【博士後期課程】

保健学専攻（博士後期課程）では以下のような学生を求めています。

- 1．保健学の領域において、科学的・倫理的な思考に基づいて独創的かつ実践的な研究を遂行することに意欲のある者
- 2．保健・医療・福祉の分野の教育を行う大学あるいは大学院における教育・研究指導に意欲のある者
- 3．保健・医療・福祉の現場において、高い倫理感と高度な専門知識に基づいた実践能力を持ち、指導的・専門的立場から課題を見つけ、自立的な研究を行うことに意欲のある者
- 4．保健医療職者に対して、根拠に基づく実践（Evidence-based Practice）の概念に則ったエビデンスを構築するための質の高い臨床研究方法に関する指導を実践することに意欲のある者

- ・アドミッションポリシーに沿って適切な学生の受入が実施され、機能しているか
入学者の選抜には、アドミッションポリシーに沿った筆記試験及び面接試験を課しており、適切な学生を受け入れている。

- ・実入学者数が入学定員と比較して適正な数となっているか
平成 23 年度の実入学者数は下記の状況にあり、若干超過したが適正な数といえる。
博士前期課程 入学定員 14 人に対し、実入学者 16 人
博士後期課程 入学定員 4 人に対し、実入学者 7 人

(5) 教育内容及び方法

- ・教育課程が教育の目的に照らして体系的に編成され、その内容、水準、授与される学位名において適切であるか
- ・教育課程を展開するにふさわしい授業形態、学習指導法等が整備されているか
- ・研究指導が大学院教育の目的に照らして適切に行われているか

- ・成績評価や単位認定、修了認定が適切であり、有効なものとなっているか
上記2点については設置計画どおりのカリキュラムを実施しており、また、社会人大学院生にも履修しやすい時間帯に開講するなど授業形態も工夫している。なお、3点目の研究指導については「医学系研究科保健学専攻大学院委員会」及び「医学系研究科保健学専攻委員会」で修了判定等の審査実施要項を定めており、教員及び学生に周知している。

(6) 教育の成果

- ・教育の目的において意図している、学生が身につける学力、資質・能力や養成しようとする人材像等に照らして、教育の成果や効果が上がっているか
修了者を輩出する時点で、教育の成果や効果を確認することとしている。また、第2期法人評価（全学的な自己点検評価、大学機関別認証評価等）の仕組みも活用する。

(7) 学生支援

- ・学習を進める上での履修指導が適切に行われているか、また、学生相談・助言体制等の学習支援が適切に行われているか
指導教員及び同じ領域の教員が指導助言を行う体制を整えている。また、医学部事務部においても大学院担当係が、各種相談窓口として円滑に機能している。
- ・学生の自主的学習を支援する環境が整備され、機能しているか、また、学生の活動に対する支援が適切に行われているか
院生研究室を設置しており、いつでも学習できる環境を整えている。
- ・学生の生活や就職、経済面での援助等に関する相談・助言、支援が適切に行われているか
医学部事務部の担当係はもとより、奨学金・授業料免除手続き等を担当する全学部門（学生総合支援センター）、学生の就職支援等を担当する全学部門（キャリアサポートセンター）が機能している。

(8) 施設・設備

- ・目的に沿って編成された教育研究組織及び教育課程に対応した施設、設備及び図書、学術雑誌、視聴覚資料その他教育研究上必要な資料が整備され、有効に活用されているか
自由に利用できる院生研究室のほか、保健学科・保健学専攻の専用図書室が9時から19時まで開館しており、閲覧・学習スペースの確保に貢献している。また、医学部図書館では職員が不在となる時間帯（夜間等）においても、講習会の受講を条件に学生が身分証で入館・閲覧できる特別利用制度を実施している。

(9) 教育の質の向上及び改善のためのシステム

- ・教育の状況について点検・評価し、その結果に基づいて改善・向上を図るための体制が整備され、取組が行われており、機能しているか
過去の自己点検評価の取組も踏まえながら、今後は第2期中期目標期間中に行われる法人評価の取組を通じて改善・向上を図ることとしている。

- ・教育、教育支援者及び教育補助者に対する研修等、その資質の向上を図るための取組が適切に行われているか

F D (ファカルティ・ディベロップメント) 委員会が企画・実施する研修会を通じて、教育の質の改善・向上を図っている。

(10) 研究活動の状況

- ・目的に照らし、研究活動を実施するために必要な体制が適切に整備され、機能しているか

医学部附属病院を含む学内研究施設等と連携するとともに、医学部事務部及び講座事務等が研究者を支援する体制となっており、円滑に機能している。

- ・目的に照らし、研究活動が活発に行われており、研究の成果が上がっているか

附属病院に設置の近未来医療推進センターと協同し、先端予防医療に係る研究を活発に行っており、それらのプロジェクトの研究成果発表会も行っている。

(11) 社会貢献の状況

- ・蓄積された知的資産を社会に還元すべく、地域への教育支援・協力等の地域貢献活動が行われているか

平成 17 年度から開始した「青少年の生活習慣病予防医療の新たな研究・教育システムの開発」に係る調査研究の成果を踏まえ、平成 18 年度に「青少年のメタボリックシンドロームを考える」研究会を結成し、学術講演会、市民公開講座、出前クリニック、出前授業、食育講座などの社会活動を行っている。また、本学の教育研究上の成果を広く社会に開放し、生涯学習の機会を地域住民に提供することを目的とする信州大学出前講座にも協力している。